

平成21年度の検討内容・スケジュール(案)について

下表の網掛けの項目について検討する。

目的	事項	各年事業		
		20年度	21年度	22年度
技術面				
1 選定方法の確立	・未実証技術の実証	新規2件 継続1件の実証 試験	試験実施	試験実施
	・データベースの検討	データベース構築方法の検討	データベースの試作	データベースの試行
2 技術の向上	・性能維持に関する実証の検討	経年実証試験の検討	経年実証試験の実施に向けた募集・予備調査の実施と検証	経年実証試験の実施と検証
	・技術改善・導入のための支援体制の検討	—	アドバイス方法及び体制の検討	アドバイス方法及び体制の検討
3 維持管理手法の確立	・メンテナンスマニュアルの整備	—	マニュアルに関する実証項目の検討	試験において検証
制度面				
4 参加メリットの向上	・ETV マークの活用	—	ETV マークのメリット(活用法)の検討	
	・実証コストの低減	—	実施体制効率化の検討	実施体制効率化の検討
		—	試験方法の簡便化の検討	試験方法の簡便化の検討
	・他の施策との連携	—	環境省事業との連携の検討	
5 情報共有システムの確立	・山麓、海岸、離島等での整備ニーズ把握	ニーズ把握アンケート実施	アンケート結果の情報発信	
	・山岳トイレネットワークの確立	メールマガジンを活用した情報共有	メールマガジンを活用した情報共有	情報発信の継続
	・研修会、シンポジウムの開催	山岳トイレ技術セミナー実施	研修会の実施	山岳トイレ技術シンポジウム開催

スケジュール（案）

期日	議題	経年実証試験	親委員会
第1回 6月18日	<ol style="list-style-type: none"> 21年度実証技術について 21年度の議案・スケジュールについて ETVマークのメリット及び分野名称について その他 	系年調査に関する募集結果の報告 ↓ 基礎資料の収集	
第2回 8月頃	<ol style="list-style-type: none"> 経年実証試験（予備調査）における確認項目の検討 データベース案について メンテナンスマニュアルに関する実証項目の検討 セミナー開催について その他 	↓ 予備調査項目の検討 ↓ 予備調査の実施	
第3回 10月頃	<ol style="list-style-type: none"> 実証試験進捗状況について 経年実証試験報告について 試験要領の改訂案の提示 (ア) 技術改善・導入のための支援としてのアドバイス体制・方法 (イ) 実証コスト低減のための体制の効率化・試験方法の簡便化 その他 	↓ 予備調査結果の報告 ↓ 調査結果のまとめ	11月頃（仮） ・ロゴマーク改訂（案） ・来年度の方針、事業パフォーマンスの向上策について ・（海外連携について）
第4回 1月頃	<ol style="list-style-type: none"> 試験要領改訂案についての検討 セミナー報告について その他 	↓ 本調査方針の検討	2月頃 ・ロゴマーク改訂（案） ・事業報告及び来年度の方針について
第5回 3月頃	<ol style="list-style-type: none"> 報告書の確認 試験要領の確認 次年度へ向けた課題の検討 その他 	↓ 本調査に向けた課題	

- 山岳トイレ技術セミナーは11月頃の開催を予定

経年実証試験の実施について

山岳トイレ技術分野における実証済み技術の経年調査について、実証済み技術で、経年実証試験の対象となるメーカーに対し、希望聴取を6月1日から12日に実施した。

その結果、1件の申請を受け付けた。

< 申請内容 >

項目	記入欄			
実証番号	030-0403			
装置名・技術名・型番等	サンレットFT- (株)リンフォースより)			
実証試験実施年度	平成16年9月2日～平成17年9月12日			
し尿処理方式 (新方式名で記述)	1.水の有無	2.前処理	3.処理方式	4.特色
	不要	無	生物処理方式	土壌処理洗浄水循環式
施設管理者名	神奈川県自然環境保全センター			
設置場所住所	秦野市三廻部地内			
山岳・山域名(標高等)	鍋割山公衆トイレ			
トイレ供用開始	平成15年10月29日			
実証装置の改良の状態	改良を行った時期(16年10月29日) 実施内容:便槽取水口より、消化槽の間において漏水。 便槽、消化槽、分離槽までの間を掘り、漏水手直しをした			

< 今後の予定 >

7月～9月頃:「資料調査(技術資料、運用状況等)」

9～11月頃:「現地調査(ヒアリング等)」

平成22年度:試料採取試験(1回)(試料採取分析を行い、技術実証委員会で検討)

< 費用(手数料)について >

試料採取分析費用について、手数料として申請者負担とする。(50万円前後を想定)

山岳トイレ技術セミナーの開催について

< 目的 >

山岳トイレ技術と実証事業の普及をするために、実証試験結果をセミナー形式で解説をする山岳トイレ技術セミナーを開催する。

< 開催概要（案） >

開催地：宮城県仙台市内（予定）

開催時期：平成21年11月頃

開催日数：1日

参加者数：100名程度（地方公共団体、山小屋、）

開催内容：

総論・環境技術実証事業の経緯（WG検討員による全体説明）

実証技術事例報告（実証機関による実証事例報告 2技術）

展示見学・情報交流（実証技術ベンダーによるパネル、パンフレット等）

山岳トイレ技術導入事例（避難小屋等の事例等の事例紹介）